

＜真剣味＞⑩

2014. 10. 22

考える力

高校駅伝で有名な兵庫県のある伝統校では、決められた練習メニューだけでなく、自分たちで考え、そして実行しているという話を聞いたことがあります。考えることで、まず練習に前向きになれる。今の自分に満足せず、欲求も高まり自主練習などにもつながると思います。学習で言えば予習をやり、大体の内容を理解したうえで授業に入り、何が分からないかが分かる。また理解できる。そして復習で定着につなげる。

ある投手が18日（土）のピッチング練習では思い通りに投球できず、受けている方が翌日の練習試合のことを考えると、とても不安で仕方ありませんでした。しかし、19日（日）の試合では短いイニングではありますが2試合に登板し、大きく乱れることなく責任を全うしました。試合後、彼に確認したところ、「家に帰ってからフォームチェックをした」とのこと。やはりこのままではいけないと思ったのか、自ら考え、行動に移し、試合に臨んだ。それが良い結果につながった。

やはり人が成長するためには、脳細胞を使いながら「考える」、そして行動に移す。
〈計画(考える)～実行～反省〉この流れを大切にしたい。

野球教室(6:45～8:45)

15日（水）には元読売巨人軍の広野さんの野球教室が実施され、小学生も参加してくれました。私の66もの中では、Battingの基本である「目線は水平であること」が記憶に残っています。短い時間でしたがとても刺激になりました。有難うございました。

後半には、小学生のBatting投手を務め、硬式ボールを怖がらずにスイングする児童ばかりで、来年は是非一緒に野球がやりたくなりました。よろしく。

よく頑張った！

一年生の彼は、足のけがのため練習で体を動かすことができなかった。しかし、その間も練習場に足を運び、仲間の練習の補助を中心に頑張っていた。また、それだけでなく、野球の勉強にも力を入れていた。

そして15日（水）エコスタの室内練習場から元気な姿で野球の練習をやっていました。治りがけでは無理をせず、また焦らず練習に取り組んでもらいたい。